

■助成金の種類：まちづくり助成（1年目）

■助成事業名：庭木と人のふれあい・助け合い活動事業

■団体名：剪定ライフサークル



↑6月16日(金)に実施された「おたすけ剪定」の様子。



↑メンバーは講座などで専門知識を勉強している方たちで、全体のバランス・風通しなどを見ながら剪定されていました。

### ■事業内容

- ・高齡と費用の両面から庭木の管理にお困りの方に『おたすけ剪定』16件実施。
- ・樹木の座学・実技の学習（勉強会・指導）を、月に1回、計11回開催。
- ・広報活動として、市関係施設と自治会ふれあいセンターの掲示板に募集チラシを掲示・配布、ライフデザインセンターの活動報告会でチラシ掲示と募集活動を行った。

■事業費総額：506,875円 助成金額：300,000円

- ・主な経費内容：剪定道具、道具用保管庫、軽トラック借用のガソリン代、事務用品代

### ■成果

- ・広報活動と実施した先からの紹介により、目標15件に対し16件の実施が達成できた。
- ・事前におたすけ剪定の進め方を検討・協議し、決定事項に従って実施した結果、依頼先からの良評価をいただき、次回の予約に繋げることができた。
- ・活動を介して地域の住民と交流が深まり、高齡者のコミュニケーションに繋がった。
- ・勉強会参加者8名が新規メンバーに加わり、樹木の緑化活動や庭木手入れの担い手が増えた。

### ■団体の活動目的・目標

庭木の剪定技術を身に着けたいと願うメンバーで構成（各務原市の教育講座を受講したメンバー等）し、各務原市の緑化に意識される〔やってみよう自分で剪定 緑を育てよう〕を課題に取り組んでいる。特に剪定技術育成活動を通じて庭木の維持管理を展開し、『各務原市の施設である小・中学校、保育所、福祉センター等の中・低木の剪定作業に貢献することを目的』とし、平成23年12月2日に設立した。その過程で地域住民と環境の相互に役立ち豊かな地域社会にするために貢献することを目的とし、平成23年12月2日から活動している。